

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
微生物学特論	3年次	必修	講義	2単位（60時間）	金子 博司 ※	
授 業 概 要						
国家試験既出問題の内容について、ポイントとなる部分を概説する。						
到 達 目 標						
<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の特徴と臨床的意義について説明できる。 ・各種病原体の検査法について説明できる。 ・抗菌薬の作用機序、検査法、薬剤耐性菌について説明できる。 ・臨床検査技師国家試験合格を目標とする。 						
実務経験のある教員						
金子博司：病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と臨床的意義、各種病原体の特徴について卒前教育として必要とされる知識を全般的に概説する。						
回	学 習 内 容				担当教員	
1・2	微生物の基本的事項				金子 博司 ※	
3・4	染色法、培養法、各種培地について					
5・6	グラム陽性球菌					
7	グラム陰性球菌：ナイセリア属、モラクセラ属					
8・9	グラム陰性桿菌：腸内細菌科、ビブリオ属、エロモナス属					
10・11	グラム陰性桿菌：シュードモナス属、レジオネラ属他					
12	グラム陰性桿菌：カンピロバクター属、ヘリコバクター属					
13	無芽胞桿菌：コリネバクテリウム属、リステリア属					
14	抗酸性菌：マイコバクテリウム属、ノカルジア属、放線菌属					
15・16	嫌気性菌：バクテロイデス、クロストリジウム、バシラス属他					
17・18	特種細菌：スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ					
19	真菌学：分類、形態、病原性、アレルギー、接合菌類、子嚢菌, 不完全菌類					
20	真菌検査法：同定方法と薬剤感受性試験					
21	ウイルス：構造と形態、増殖、伝播様式、ウイルス検査法					
22・23	薬剤感受性試験：薬剤の作用機序、各微生物に有効な薬剤について					
24・25	写真問題：国家試験既出問題の回答と解説					
26	総合学習：国家試験既出問題の解説-1					
27	総合学習：国家試験既出問題の解説-2					
28	総合学習：国家試験既出問題の解説-3					
29	総合学習：国家試験既出問題の解説-4					
30	総合学習：国家試験既出問題の解説-5					
学 習 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の既出問題を中心に講義を行う。 ・予習及び復習により理解を深めること。 						
評 価 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> ・試験は3回実施し、その平均点で評価する。 ・試験は臨床検査技師国家試験出題基準（厚生労働省医政局医事課）に準ずる問題200題とし、その得点率により評価する。 						
先 修 科 目						
基礎分野、専門基礎分野及び専門分野のうち、1年次及び2年次に配当されているすべての必修科目						
教 科 書、参 考 書						
〔教科書〕 臨床検査学講座 臨床微生物学 医歯薬出版						
〔参考書〕 病気がみえる 免疫・膠原病・感染症 MEDIC MEDIA						